横浜市立大豆戸小学校

令和8年10月30日
11月号

学校だより

よりよい自分をつくる大豆戸の子
～なかよく かしこく たくましく 笑顔いっぱい 大豆戸の子～

学校ホームページ

一人ひとりの想いを大切にする運動会



5・6年生 大豆戸魂 ソーラン

校長 八城 政徳

昨年に続き天気が心配されましたが、25日の日曜日に運動会を開催することができました。来賓の皆様をはじめ、たくさんの保護者の方に応援していただいたことに、厚く御礼申し上げます。

運動会は当日の活動が注目されますが、練習は9月中旬から始まり、6年生を中心とする係活動は9月末から取り組んでいます。演技については2学年合同で行うため、学年ごとに練習した後で、上の学年が下の学年に教える時間を取っています。その他にも団体競技や徒競走、全校競技や応援練習等、覚えることもたくさんあり、毎日のように練習があります。

応援団やリレーの選手は、その練習だけでなく休み時間も練習しています。このように運動会までの1か月は、子どもたちはかなりの時間を練習に費やしています。運動が大好きな子にとっては、毎日踊ったり走ったりできることは楽しく嬉しいことです。しかし、運動が苦手な子や大勢で一緒に活動することが苦手な子にとっては、どちらかというと辛い時間だったかもしれません。

1年間の中で全学年が協力して取り組む大きな行事の一つである運動会は、毎年行うことが当たり前になっていますが、そこに向かう一人ひとりの子どもたちの想いはそれぞれ違います。私たちはその想いを捉え、どのようにしたらそれらの想いが叶えられるのか、一人でも多くの子が安心して取り組むためにはどのような工夫をしたらよいのかを考え、一人ひとりの想いを大切にして運動会を創ってきました。

今回の運動会を通して、勝った嬉しさや負けた悔しさ、演技や競技で上手くできたことやできなかったこと、同じ色の仲間と取り組んだよさや難しさ等、子どもたちが何かしら自分なりの成長や次への課題を見つけることができていたら嬉しいです。11月6日には全校遠足があります。子どもたちにとって更なる成長の機会になるよう、教職員一同支援してまいります。引き続きのご協力をお願いいたします。